



豊かな子

明るく、思いやりのある子
夢に向かって、自ら学ぶ子
身体を鍛え、最後までやりぬく子



目指す諫早小学校の教育の姿

今年度も、全教職員の力を結集し、「諫小の子を豊かな子へ育てていく」ことを学校の指導目標に据え、成長した子の姿を明確に抱きながら、粘り強く、保護者のご理解ご協力を得ながら進めていきたいと考えています。

詳細については、2ページ目の「学校経営方針（グランドデザイン）」にまとめていますので、ご覧ください。

目指す「豊かな子」に必要な資質・能力、人間性については「**ひあしーがもつ6つの能力**」として指導を継続していきます。その土台にあるのが「**学級経営**」であり、一人一人の居場所となり、自己肯定感を高め、仲間同士の豊かな人間関係を築いていきます。**人との望ましい関係の築き方、また困難な場面、問題場面が生じた時に折り合いを付けて、互いに気持ちよく生活していこうとする力の育成は、諫小の子どもたちの課題です。**子ども同士にトラブルがあった時は、成長の最大のチャンスです。叱責や懲罰、責任追及や謝罪、交友関係断絶等の対応では、子どもは豊かに育ちません。**子どもは成長過程にあり、人間性、社会性、規範意識等を、今生きながらに学んでいることを、大人がしっかりと把握したうえで、子の指導にあたらねばならないと強く感じています。**

2学期制の良さを生かした「平和・命の教育」、「人権・いじめ防止の教育」の充実、個に応じた特別新教育やすべての子を対象とした発達支持的生徒指導の展開、そして大切な子どもに確かな学力を付けさせるための教職員研修の充実等に努めていきます。1月には、教育委員会指定の研究発表会を開催し、諫小が鍛えてきた教育力、授業力について広く公開する予定です。

最期に、先生方と共有している「**思い（諫小スピリッツ）**」を、保護者の皆様にご紹介します。

学校は、子どもたちのためにあります。

学校は、子どもたち一人一人の「生きる力」を高め、伸ばすところです。

学校の主人公は、子どもたち一人一人です。

伸びようとする子どもたちです。

子どもたちには、でこぼこがあります。

そのでこぼこを受け止めてこそ、学校は成り立ちます。

教職員は、子どもたちのためにその職に就いています。

教職員や保護者は、自分の都合や思いを優先させる前に、

そのことが子どものためになるかを、しっかり考えることが大切です。

学校は、子どもたちにとって、温かい居場所であり、道場でもあります。

先生方とともに、それぞれの強みを生かし、力を出し合って、

子どもたちにとって、生活すること、学ぶことに喜びのある学校に

保護者にとって、安心して通わせ、子の成長を任せられる学校に、

そして、私たちにとって、やりがいと充実感、そして笑顔、喜びのある

学校に、していきたいと考えます。

1 学校の責任を果たす

「学校は子どもに力をつけ、高める所」

2 すべての指導において、児童理解を基盤に据える

「思い込み、決めつけはご法度」

3 魅力ある、組織で支え合う職員集団 「子どもの憧れの存在に」

諫小教職員一同、自己の職責、教育という崇高な使命を果たすべく、日々研鑽を重ねています。学校は、人を育てる教育を行う場所です。教育の一義的責任者である保護者との連携、共通理解なくして、成立しません。ご相談やご連絡を差し上げた際には、子育て伴奏者として、共感的に話を聞き、ご対応ください。



日本国憲法 教育基本法
教育振興基本計画 県・市教育方針

令和7年度 学校教育目標
創造的な実践力に富む、心豊かで、たくましい子どもの育成
～ 豊かな子 ～

目指す学校像
「現状維持は後退なり、
改革なくして前進なし」
進化し続ける学校を目指します

- 礼儀正しい、心豊かなふれあいのある学校
- 主体的に学び、学力の向上を目指す学校
- 健康と体力の充実を目指す学校
(※教職員の働きがいに満ちた学校)

目指す教師像
「教師の責任は、子どもに力をつけ、
高めることである」
指導を諦めない教師集団です

- 人間性豊かで、愛情にあふれる教師
- 絶えず研鑽に励み、子どもと共に学び育つ教師
- 明朗健康、仕事に喜びと生きがいを感じる教師

「生きた学び」と「徹底・継続、協働・協創」で
『豊かな子』を育てる！

- ①生きた「学力」「学習習慣」「意欲・態度」を育てる指導
- ②教育的愛情と人とのつながりを基盤に据えた指導や支援「徹底・継続」
- ③諫小職員チーム一丸となった校務運営「協働・協創」

目指す児童像 『豊かな子』

※学校の守り神『ひあっしー』

明るく、思いやりのある子
【徳】明るさ、思いやり

夢に向かって、自ら学ぶ子
【知】自ら学ぶ

身体を鍛え、最後までやりぬく子
【体】最後までやりぬく

予測困難な未来を生きぬく資質・能力、人間性の育成

【知識・技能】 【思考力・判断力・表現力等】 【学びに向かう力・人間性】

徳【自然や生命など崇高さへの理解】 『美しい心』

- ・美しいものやすばらしいものに気づき、感動する。
- ・生命の尊さを知り、いのちあるものを大切にする。

知【自己理解と自己肯定】 『大好き 自分』

- ・自分のことをよく知り、大事に思う。
- ・自分に自信をもつ。

体【自立】 『自分の力で』

- ・自分のことを自分でする。
- ・自分で考えて行動する。

徳体【自律】 『自分にきびしく』

- ・自分でできたことは、最後までやりとげる。
- ・社会のルールを大切にし、自分の感情や行動をコントロールする。

徳【他者の尊重】 『認め合う仲間』

- ・みんなの気持ちや考えを大事にする。
- ・自分の言葉や行動で、人を傷つけない。

【協働のためのコミュニケーション】

徳知体 『力を合わせて』

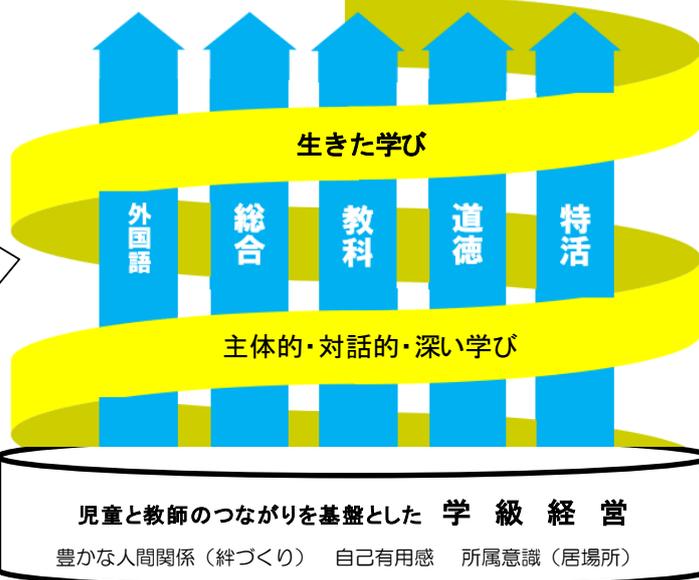
- ・思いや考えを分かりやすく伝え合う。
- ・役割を進んで見つけ協力する。

教科

- 生きた学力の定着を目指す授業
 - ・課題やめあて、まとめがある。
 - ・思考・判断する場面、考えを表現し合う協働場面がある。
 - ・学習規律、学習習慣の定着
 - ・自学、自習の仕方の指導
 - ・タブレットの効果的活用
- 研究（研究指定3年目）
豊かな子を育てる教育課程の在り方
～算数科の授業改善を中心として～
 - ・数学的に表現し伝え合う活動の工夫
 - ・考えを見直し、理解を確かなものとする（再現・解釈・往還・検討）
 - ・学年経営、キャリア教育で育む資質能力

生徒指導

- 深い児童理解にたった開発的指導
基本的生活習慣の定着（凡事徹底）
規範意識の醸成
チーム対応（報連相の徹底）
メディア等、喫緊の課題の指導



- 特別活動
- 主体的・自治的活動の推進
人間関係形成力の育成
社会参画意識の高揚
自己実現に向けた意欲・能力の育成

- 道徳
- 考え、議論する道徳授業
道徳的判断力、心情、実践意欲
集団としての規範づくり

- 総合的な学習の時間
- 横断的・総合的な探究学習
見方・考え方を広げる
課題解決能力、表現力を鍛える

- いじめアンケートと個人面談の充実
- 夢や憧れを育てるキャリア教育
- 支持的風土醸成と学級文化の創造
- iCheckを生かした学級指導

特別支援級教育

- ・一人一人の個性を大切に
- ・交流活動による相互理解促進
- ・保護者、関係機関との連携

人権・平和教育

- ・充実した人権教育の推進
- ・包括的性教育の推進
- ・長崎に根付く平和教育

教育環境の整備

- ・学習活動充実のための環境整備
- ・学習活動に必要な備品整備、施設の改修
- ・四季を感じる潤いのある環境づくり

健康・安全指導・食育

- ・衛生環境の保持。健康習慣の定着
- ・望ましい食習慣の定着
- ・児童の危機管理能力の向上

読書指導

- ・夢、憧れを育む読書指導
- ・図書室の創造的な運営
- ・図書ボランティアとの連携

家庭との連携

- 願いや思いを共有し、深い児童理解を元に、保護者と共によりよき成長を図ります。【教育上のパートナー】
- ・目標や手段、評価の共通理解
 - ・親身になった教育相談
 - ・積極的な情報発信、情報共有

未来へつなげる持続可能な学校づくり

- 「ウェルビーングな諫早小へ～子の幸せ、親、教職員、地域の幸せ～」
- 学校・家庭・地域の連携分担（役割の見直し・意識改革）
 - 教職員の働き方改革（2学期制・校務効率化・勤務時間管理等）

地域との連携

- 多くの方々のかや知恵を取り入れ、学校としての「総合力」を向上させます。
【学校運営協議会】
- ・地域、家庭との協働活動推進
 - ・ひと・もの・ことの繋がり
 - ・積極的な情報発信、情報共有

関係機関との連携

- ・行政、医療等との連携
- ・包括的家庭教育支援

- ・中1プロブレム対策
- ・架け橋カリキュラム
- ・相互訪問研修

幼保、中との連携